

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや
ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 ☎763-5110
会長 野村 義雄
幹事 深見 章
会報委員長 北野 寿三郎

No. 9

ROTARIANS-UNITED IN SERVICE
DEDICATED TO PEACE

ロータリアン——

奉仕に結束 — 平和に献身

1987~88年度 RI会長 チャールズ・C・ケラー

第253回例会 昭和 62年 9月 1日(火) 晴

◇ “君が代”

◇ “奉仕の理想”

◇ 出席報告

会員 55名 出席 45名

出席率 81.82%

前回 8月25日 (修正出席率) 98.18%

◇ ビジター紹介 5名

◇ お誕生日祝福

堀江夫人(8/31)、小林夫人(9/3)、杉山夫人(9/3)

◇ ニコボックス

加藤 敏昌君 娘がこの夏休みに全国医学部学生大会で弓道部門(団体)で優勝しました。

三輪 康君 ホームクラブ御無沙汰しました。

大谷 和雄君 スピーカーを紹介させていただきます。

堀江 宏輝君、小林 明君、杉山 貞男君 夫人誕生日祝い。

◇ 深見幹事報告

1. 次週はガバナー公式訪問ですので、全会員の出席をお願いいたします。

又、例会終了後クラブアセンブリーを開催いたしますので、理事役員、各委員長の方はお残り下さい。

2. 小牧ローターアクトクラブより、認証状伝達式(10/18)のご案内がきておりますので、参加御希望の方は事務局までお申し出下さい。

◇ バナー紹介

前橋南RC 永井 正義君

◇ 野村会長挨拶

日米間が段々陰悪なムードになって参りましたが、最近のココム違反事件とか、小さな事件では某社々員の留学拒否事件などをみても、どうも米国は、経済活動に於ても、各種製造技術に於ても日本に追い越されて、このままでは二流の経済国家、二流の政治的

地位に急落するのではないかと危機感から、極めて感情的な対日政策を打ち出して来ている様に思われます。日本は日米協調は日本の為にも、世界平和の為にも最優先で守らねばならない国是として、身を削って友好関係を維持しようとしている。

然し無理難題を言うのは米国だけではない。日本が経済的に強い限り、ECも中国も韓国も言いたい放題言ってきている。これらをうまくこなそうとして四方八方頭を下げている内に、段々日本は腰抜けになっていくのではないかとと思われる。

どんな人間にも顔がある様に、どの国にも文化があります。今我々に必要なことは日本の文化、風土を守り次代に伝えていくことではなかろうか。

文化とは質の問題です。経済大国とは量の問題です。量の問題がドンドン侵入してきて質の問題を押し潰してしまう惧れがある様に思えます。これは国内的な問題ですが。

又、国際化が進むと対応を誤ると大変なことになると思えます。例えば、8月17日の日経に、全米の4分の1の産婦人科医が産産介護業務を減らしている。その理由は、あらゆる社会的なトラブルを訴訟で決着をつける乱訴社会の傾向が強まり、患者から訴えられる事を恐れたからであるが、訴訟洪水は医療の危機という社会問題を起こしています。

行きすぎた契約社会の悪弊が、国際化と言う美名の下に我国に侵入し、勤勉にして和を以て尊しとなす日本人が築き守っている醇風美俗を壊されてはたまらない。

既に米国の弁護士に日本国内での開業を認めています。彼等が乱訴社会へのリーダーとならぬ事を切望する次第です。

日本の弁護士は1万3,000人、米国の弁護士は65万人、人口は倍だが、弁護士の数は50

倍です。「ミーイズムがはびこり結果として、連帯感がなくなって生産が低下し、米国の跡を追う」と喜んでいる米国人がいると言われている。因に、経済運営がうまくいっている国は弁護士の数も少なく（日本、台湾、韓国）多い国は、米国、英国、加、スペイン、イスラエル、アルゼンチン などだそうです。

以上は1、2の例ですが、我々としては、正邪を誤らず進んでいきたいと考えます。

◇講演

“愛知県の少年非行の実態と問題点”
愛知県警 防犯課青少年補導官 警視
幸 弘 氏 （紹介 大谷君）



昭和61年中愛知県下で窃盗・強盗などのいわゆる刑法犯として検挙した人員は18,524人に及び、このうち少年は9,588人で、実に全体の52%を占め、犯罪者は数的に成人より、少年が多くなっております。また、少年では中学生が4,367人、全体の24%を占めております。犯罪少年9,588人のうち再非行少年は3,311人、再犯率は35%、特に高校中退者の再犯率は非常に高くなっております。更に女子非行も相変わらず多く、内容の悪質化が顕著になってきております。愛知県における戦後の少年非行の推移をみた場合、反社会的非行とともに非社会的非行が増加するなど、実に憂慮すべき状態になっております。

戦後の少年非行には3つのピークがあり、

第1のピークは、昭和26年ごろで敗戦後の社会的、経済的混乱を背景として食べるものなし、寝るところなしの孤児等も多く主として年長少年によるかっぱらい等のいわゆる財産犯が多発しました。又、この昭和26年には成人にも先行き不安からヒロボンと呼ばれた覚せい剤が爆発的蔓延をみた時期でもありました。昭和30年ごろに至り、戦後復興にかけ大人の生きざまを反映してか、少年非行も沈静したが、その後、カミナリ族の横行、後に問題となるスーパー・マーケット商法の出現、更には睡眠薬遊びの流行など、今日までも根を持つに至る非行遠因がみられるようになってきたのであります。

第2のピークは、東京オリンピックの開催、新幹線の開通と経済が大きく成長した昭和39年に到来、経済成長は、社会構造を急激に変化させ、大都市に人口を集中させ、特に中学

卒業生を広く労働力として求めた時期でありました。この頃から、無職少年があらわれ、窃盗犯を主体としつつも、強盗等の必要犯・性的犯罪の多発な質的悪化も進んできた時期でありました。更に、シンナー・ボンド遊び、モーターでの性非行、高校生売春、竹の子族の出現等を経て、

第3のピークが、昭和57年ころに到来、非行の数的増加はもとより質的悪化も深刻化し今なお引き続き高原状態を維持させているのであります。少年非行は大別すれば

- 少年自身が敢行する非行
- 少年の福祉を害し、少年を喰いものにする事から少年が非行化するものがあります。

少年自身が敢行する非行も、社会的、経済的安定に伴っての国民の生活様式・価値感の多様化を背景とし、非行も又多様化し中学生を主体とする。利欲あるいはスリルを求める万引き、オートバイ盗の非行の入口、初発型非行が大幅に増加したのであります。この初発型非行は、善悪のけじめがつかず家庭におけるしつけの欠如が原因と思えるのであります。さらに、中学生とともに問題になるのは中卒後進学しない。あるいは高校中退による無職少年が大幅に増加しているということでもあります。これら少年の家庭をみた場合

- 両親が揃っている
- 経済的に問題がない など、すなわち、普通の家庭の少年が非行化することが多いと言えるのであります。更に、大きな問題として今新聞紙上を賑わしているシンナー乱用少年の大幅増加があります。

窃盗などの財産犯は利欲・遊び心を動機とする反社会的非行であるが、シンナーに溺れていくのは、社会になじめない非社会的な非行と言え、今後の少年非行対策上の問題点であろうと考えられます。

非行防止には有効な決め手はありませんが、

- まず、安定した家庭の確立
 - 非行の早期発見、再非行の防止
 - 少年に生き甲斐をもたせること
- などが必要ではないかと思われます。

◇例会変更のお知らせ

- 名古屋空港 R C 9/14 (月) 夜間例会の為、PM 6:00 より
- 名古屋東南 R C 9/17 (木) 長寿の日夜間例会の為、ホテルナゴヤキャッスルにて PM 6:00 より
- 名古屋港 R C 9/18 (金) 青少年活動月間特別例会の為、PM 6:30 より

◇次回例会（9月8日）

ガバナー公式訪問の為、講演はございません。

◇次々回例会（9月22日）

ファイアサイドミーティングの為、講演はございません。